

What's up,

OITA!

(どげえかえ、ふるさと大分!)



世界で活躍する県人会員と留学生OB、大分県関係者の皆さま方に、大分の「今」をお伝えします。

《Vol.34》2015年12月1日発行

【ご挨拶】 大分県企画振興部 国際政策課 課長 堀 俊郎
hori-syunro@pref.oita.lg.jp

最近、観光地はもとより、市内の商店街などでも海外からの観光客を多く見かけます。県内の外国人観光客(宿泊者)数は、今年1月から10月までに42万人(速報値)となっており、昨年同期の25万人から約1.7倍も増えています。「シンフロ」や留学生作成のCMなど動画でのPRも行っていますが、引き続き、海外からの観光客誘致に取り組んでまいります。



バックナンバーはこちら <http://www.pref.oita.jp/soshiki/10140/whatsupoita.html>



大分県の海外関連施策について



企画振興部
広報広聴課
課長

高屋 博

(Hiroshi TAKAYA)

【連絡先(Mail)】

a10400@pref.oita.lg.jp

広報広聴課の高屋と申します。

当課では、県行政の普及及び啓発を図るための各種広報、県政の広聴の実施、大分県の認知度及び好感度向上のための情報発信を行っています。

特に情報発信に力を入れ、おんせん県おおいたの新作PR動画「シンフロ」を、10月に公開しました。オリンピックメダリストが主宰するプロのシンクロナイズドスイミングチームが県内のバラエティ豊かな温泉で、県出身の作曲家・瀧廉太郎の名曲「花」を大分県の音を集めてアレンジしたBGMに合わせシンクロを演じました。公開されるや否や多くのメディアやSNSで話題になり、再生回数は3日で37万回、わずか1週間で60万回、7週間でついに100万回超えという驚異的な記録を達成しました。

「日本一の温泉で世界のみみんなを沸かせたい」というキャッチコピーのもと、動画投稿サイトYouTubeの解析データによると、動画閲覧数100万回のうち、台湾が23万回、次いで香港・アメリカで1.5万回、ロシアで1.4万回再生されており、日本だけではなく、多くの海外でも閲覧されています。皆様にも、WEBで「おんせん県おおいた」を検索のうえぜひご覧いただければと思います。

今後は、ラグビーW杯2019大分開催、2020年東京オリンピック・パラリンピックの開催など、海外から日本、大分への注目度が高まります。この絶好の機会を逃さず、

認知度の向上、インバウンド対策の促進のため海外広報を強化していきます。

皆様には、今後とも県の広報パーソンとしてご支援、ご協力をお願いします。



海外大分県人会交流掲示板



オンタリオ大分どげえ会

10月22日に、オンタリオ大分どげえ会代表のマーナ豊澤英子さんと夫のJohnさんが県庁を訪問されました。

オンタリオ大分どげえ会では、年に一度、大分県出身者が集合し、アットホームな集いを開催しています。英子さんは、大分に滞在中の間も休む間も無く、様々な交流活動・文化活動をされていたようで興味深いお話を聞かせていただきました。トロントへ行かれる機会がありましたら、是非、ご連絡してみてください。

オンタリオ大分どげえ会: mernagh@rogers.com

注目記事①【11月26日～28日】大分県台湾プロモーションを実施

県では、「大分県台湾プロモーション」を実施しました。台湾において、観光と県産品の一体的なプロモーションを実施するのは今回が初めてであり、また、プロモーションに併せて、ものづくり産業の企業交流を行いました。太田副知事を団長に、観光、商工、農林水産、メディア関係者など、105名に参加していただきました。

来場者で賑わう「大分県のタベ」会場



かぼすブリ、ヒラメのお寿司も大好評



プロモーションのメイン行事である。レセプション「大分県のタベ」では、来場者は予想を超える197名（観光、貿易・流通、ものづくり関係、メディア、県人会、政府関係者）にのぼり大盛況でした。

観光や県産品の関係者がブースを出展し、来場者に対して本県の魅力を存分にPRしました。会場では、「かぼすブリ・かぼすヒラメの寿司・刺身」などをご賞味いただき、どれも非常に好評でした。また、日田市長による日田市の紹介、大分県の海外向けCM「シンフロ」の紹介を行うなど、大分の魅力をアピールしました。台湾在住の大分県人会やAPU卒業生の方々にも多数ご来場いただき、県のPRに協力していただきました。台湾地元のテレビ局や雑誌社等多くのメディアが取材に積極的で、翌日台湾全土にニュース報道されました。

期間中には、マンダリン航空本社、亜東関係協会、三三企業交流会、交流協会などを訪問し、大分への定期便就航の依頼や台湾への輸出拡大や観光客誘致について意見交換を行ったほか、大分県と台中市のとの間で「観光友好交流連携に関する協定」を締結しました。

このほか、「観光商談会」「ものづくり企業商談会」「県産酒商談会」を実施し、活発な商談を行いました。台湾をはじめ海外の活力を取り込むため、引き続き海外戦略の推進に全力を挙げて取り組んでまいります。

[国際政策課]

注目記事② 小学校で「国際理解出前講座」を実施

大分県では、県内の小・中学校、そして高校にて、国際理解出前講座を実施しています。国際理解出前講座とは、グローバル化が進む中、国際理解を深めると同時に、国際交流に触れることの少ない生徒たちのために国際交流員(CIR)が講師として出向き、出身国の概要・文化などを紹介し、交流活動を行うものです。



今回は私とイギリスの国際交流員ミリアムさんが別府市立大平山小学校に出向き、6年生のクラスで出前講座を行いました。始めはそれぞれの出身国について紹介し、残りの時間は私たち2人と生徒たち皆が一緒に楽しめる活動として韓国やイギリスに関連する言葉を使ったビンゴゲームを準備していきました。与えられた時間があっという間に過ぎてしまいました。

私の場合、今回が初めての出前講座だったため、緊張も少ししていましたが、生徒たちが質問にも積極的に答えてくれたし、何よりビンゴゲームをすごく楽しんでくれたのでとてもやり甲斐を感じた時間でした。また、私が教えた韓国語で挨拶をしてくれるなど子供たちと触れ合うことができ私もとても楽しかったです。

県国際交流員 金 眞雅

注目記事③ 留学生による大分県CM 第2弾公開

県内在住留学生によって制作された大分県CMが完成しました。これは、留学生ならではの視点で大分の魅力を世界に伝えるCM映像を制作する取り組みで、今年で2年目を迎えます。今年は、インドネシア・ベトナム・タイ・台湾向けの4作品と、グローバル向け2作品の計6作品が完成し、Web(You Tube)にて公開しました。

学生たちが考えたユニークなストーリー、伝えたかった大分の魅力、美しい映像に注目してご覧ください。

そして是非、世界中のお知り合いの方々にシェアをお願いします！

留学生による大分県CM 全作品(2014&2015)

<https://www.youtube.com/channel/UCSfYw6nGjo9jcC4C6LQaTKg/videos>

※もしくは、YouTube内で「Oita Promotion Video」を検索！



(CM完成発表会のようす)

【タイ向け大分県CM】

<https://youtu.be/tCZTqsQmr7o>



○大分県知事賞受賞作品

空から何かの物体が降ってきた。地面に倒れ込む青年、突然の出会い、そしてふたりの特別な旅が始まった。

【ベトナム向け大分県CM】

<https://youtu.be/xpqVef6EDeE>



○APU学長賞受賞作品

ベトナム武術の師匠は弟子に「旅に出よ」と伝えた。3人の若者は大分の美しい風景に魅了され、そして学んでいく。

【インドネシア向け大分県CM】

<https://youtu.be/Akzcwq7sHH0>



インドネシア人はラブストーリーが好き。そんなヒントから、少し気になる相手と、楽しくロマンチックに過ごせる場所を旅しながら、ふたりの仲が深まる様子を描いた作品。

【台湾向け大分県CM】

<https://youtu.be/-bP9Na-rRmI>



台湾人のKimmyは、留学していた大分をもう一度訪れることに。日本の友達に声をかけるが…。姫島盆踊りや昭和の町など、ノスタルジックな大分の風景が印象的。

【グローバル向け大分県CM(1)】

<https://youtu.be/Bqky-m0RSf0>



故郷の母親にあてた手紙。いつの間にか大きくなって自らの足で様々なところに訪れる娘の姿を描いた。景色の美しさや自然の音にこだわった作品。

【グローバル向け大分県CM(2)】

https://youtu.be/z_y1PWXGlb0



つきあい始めて1年の記念日に送られた特別なプレゼント。彼が残したヒントを元に彼女は大分をめぐることに。最後に、ふたりは出会うことができるのか。

[国際政策課]



中国湖北省・陳研修員、大分で5か月の研修を終え帰国

県と中国湖北省の相互交流の一環として来県した陳研修員が、研修期間を終えて帰国しました。陳さんは、今後も引き続き「めじろん海外特派員」として、大分と湖北省との交流促進に努めていただきます。陳さんからメッセージです。



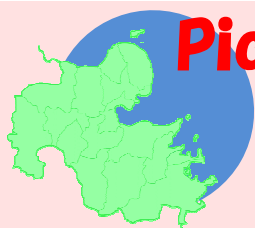
氏名：陳瑾(チン キン)
所属：孝感市孝南区
外事僑務観光局

今回の研修において大分県の皆様からたくさん協力をいただきました。特に大分県庁の皆様とツーリズムおおいたの皆様大変お世話になりました。

5ヶ月間、日本一のおんせん県自然風土・歴史文化にすっかり魅了されました。帰国したら、周りの人たちに大分県民のあきらめない精神を伝え、より多くの人々に大分県の魅力を知ってもらいたいです。また、大分と湖北省、両地域の架け橋として、そして、日中両国の友好のために努力したいと考えています。私は日本での見聞と学んだことを実際の仕事に運用します。両地域の文化、経済、観光など各方面の交流協力に力を入れます。

本当にありがとうございました。そして、これからもよろしく願いいたします。





Pick Up! 大分の「今」

県内の出来事(11月)

News 【11月7日(土)】 2018年度「国民文化祭」の開催地に内定

2018年度「国民文化祭」の開催地に大分県が内定しました。大分県での開催は、1998年度以来、20年ぶりとなります。2018年は、いいちこ総合文化センター、県民芸術文化祭、別府アルゲリッチ音楽祭がともに20年を迎えるなど、大分県の芸術文化にとっても記念すべき年となります。この記念すべき年を祝いながら、将来に向けてさらなる芸術文化の振興を図る絶好の機会になりそうです。



第13回国民文化祭・おおいと98のシンボルマーク

News 【11月9日(月)】 第35回大分国際車いすマラソン大会

11月8日(日)、第35回目となる大分国際車いすマラソン大会が開催され、世界15カ国から男女計232人が出場し、熱戦が繰り広げられました。当日は、雨の予報が一転、青空が見られこの時期には珍しく気温もぐんぐん上昇し、選手によっては逆に厳しいコンディションに。マラソン男子はマルセル・フグ選手(スイス)が6連覇を達成。マラソン女子でも、マニユエラ・シャー選手(スイス)が3連覇を果たしました。



News 【11月14日(土)】 APUの学生食堂がハラール認証を取得

立命館アジア太平洋大学(APU)の学生食堂がイスラム教の戒律に従った「ハラール」対応の認証を受けました。イスラム教では、豚肉などを口にするだけでなく、それらの食材の触れた器具で調理することも禁じています。APUの学食では、包丁やまな板などの調理器具も専用のものを使い、食器の洗浄も別にしてあります。APUはこれまでも学食でハラール対応メニューの提供を行っていましたが、施設そのものが認定されるのは珍しいことです。



ハラールのマークは国によって様々

News 【11月25日(水)】 ちびっ子力士が大相撲力士らとかけ稽古

大相撲九州場所を終えた湊部屋の力士らが日田市を訪れ、日田市立朝日小学校の土俵で行われた第40回記念校内相撲大会に出席しました。朝日小学校と大相撲力士らの交流は長く、40年前の相撲大会開始時から継続的に力士らが相撲大会を訪れているそうです。かけ稽古では、前頭筆頭の逸ノ城関に児童が数人がかりで立ち向かい、会場は笑いと声援に包まれました。力士らは、この他に、老人ホームや保育所、日田林高相撲部なども訪問しました。



※国際政策課にて新聞等を元に作成

APU校友会 クアラルンプール日本人会主催のチャリティーバザーに出展!

APU校友会マレーシアチャプターは、2015年11月1日、クアラルンプール日本人会主催のチャリティーバザーに出展しました。9名のAPU卒業生が参加し、全て手作りの鶏飯201人分を早々に完売し、ライムジュース(かぼすを代替)も120杯を販売。大分県とAPUをマレーシア在住の日本人およびマレーシア人の皆様へ幅広くアピールすることができました。今話題の「シンフロ」の動画を流し続けて人目を惹き、APUのノベルティをおまけとして付けるという太っ腹作成が功を奏したのかと思います。

また今回のイベント用におんせん県のポスターおよび法被を提供いただきました大分県庁国際政策課の方々、およびTシャツ & ノベルティを提供いただいたAPUの校友会事務局の方々には多大なる支援をいただきました。この場を借りて御礼申し上げます。

APUマレーシア校友会・マレーシア大分県人会 河村 洋企



From our Reporters



県の国際交流員等が、旬なOITA情報をお届けします。

 <p>ミアム・スターリング (Miriam Starling) 県国際交流員 英国 pu101503@pref.oita.jp</p>	<p>私とキムさんとシェリダンさんと二人の日本人の友達で、一緒に高崎山に行きました。長野県と京都の嵐山の猿を見たことがありますが、大分県の猿を見るのは初めてでした。猿はとても面白かったし、猿の赤ちゃんも非常にかわいかったです。時々、猿は急に互いに激しく争って、少し怖かったです！私の国では、猿は動物園でしか見えないので、野生の猿が山から下りてきて、人間のそばに冷静に座れることなどはすばらしいと思います。高崎山は賑やかな大分市と別府市の中の真ん中に位置しますが、自然と触れあいができるというような感じがしました。そして、話題のシャーロットちゃんにやっと会えました！とてもかわいかったです。私にたいしてあまり興味なかったようです。(いつも大勢集まったファンに囲まれましたから！)</p>	
 <p>李 晓雪 (Li Xiaoxue) 県国際交流員 中国 pu101501@pref.oita.jp</p>	<p>1か月前に、友達と日本の紅葉を見に行こうと約束しました。先週の週末、天候に恵まれて見事な紅葉を満喫できて大満足しました。朝7時に出発して、旅行ガイドブックに紹介されたおすすめコースの深耶馬溪へ行きました。休日と紅葉のいいシーズンが重なり、山登りの人々や行楽客でにぎわい、バイク・自転車・車で渋滞していました。 清らかな川が流れ、切り立った岩がそびえたち、またきれいな水と苔、落ち葉に紅葉が美しく映えています。言葉では言い表せないほど美しく、まるで水墨画のようで、至る所で感じられる大分独特の文化の雰囲気が名残惜しくて帰ることを忘れさせてしまうほどでした。周囲の奇岩群を景観展望台から一目で見られました。たぶん季節によっていろいろな楽しみ方があるかもしれません。非常に自然の味にあふれているし、休憩に寄るにはいい場所だと思います。深耶馬溪の美しい風景とグルメに深く魅了されました。</p>	
 <p>金 眞雅 (Kin Jina) 県国際交流員 韓国 pu101502@pref.oita.jp</p>	<p>紅葉の綺麗な秋から立冬が過ぎ、朝晩は冷え込んできました。寒い冬はあまり好きではないですが、イルミネーションが街あっちこちに飾られますので、とても待ち遠しい季節です。 パークプレイス大分には高さ10mのクリスマスツリーが設置されるなど、すでに綺麗なイルミネーションが始まりました。今年のコンセプトは音楽と光の競演だそうです。音楽と共に煌めくイルミネーションを楽しむことができるので、買い物ではなくイルミネーションを見るためにわざわざ訪れる人も多いようです。 大分駅の周辺も11月27日から来年の1月末までイルミネーションがライトアップされます。大分で始めて迎えるクリスマスなので、キラキラ輝く大分の街中はどのような感じになるのかとても楽しみです。</p>	
 <p>シェリダン・ミキシック (Sheridan McKisick) 県国際交流員 米国 pu1014001@pref.oita.jp</p>	<p>JETプログラム参加者の友達と一緒に九重山に登りました。九重山の最初の部分は非常に急であることを知りませんでした。留学生の頃に、富士山を麓から半分ぐらいまで登ったことがあるのですが、九重山の麓はもっと大変だと思います。 山登りが得意ではないのでゆっくり登りました。ゆっくり登ったので夕暮れ前までに山頂まで登る時間がありました。でも、とにかく九重山はとても美しかったです。 山を登った後、温泉に入って竹田の竹灯籠祭りに行きました。全体として、この土曜日は幸せな一日でした。</p>	



なつかしい我が故郷～大分ふるさと写真館～

【宇佐市／豊後大野市】



(宇佐市)
「東光寺五百羅漢」
喜怒哀楽の表情をした
五百羅漢



(宇佐市)
「仙の岩」
高さ100mにも迫る直立した
岩峰・奇岩がそびえる



(豊後大野市)
「九州オURRE奥豊後コース」
朝地駅～竹田駅を結ぶ、
里山をめぐるトレイルコース



(豊後大野市)
「箱積水中鍾乳洞」
世界的にも珍しい
水中鍾乳洞



話題提供のお願い！

県人会の活動（懇親会等）や留学生OBの近況など、世界中の大分県関係者に紹介したい話題をお寄せください！（様式は任意です）

【記事提供先／お問い合わせ先】
国際政策課 担当：平山（ひらやま）
【Mail】 a10140@pref.oita.lg.jp

